

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	回腸新膀胱造設術後の排尿機能の経時的変化に関する後ろ向き研究			
2. 対象患者	当院で、以下の期間に回腸膀胱造設術を施行された症例のうち、当院で術後経過観察を行い、かつ外来受診時に国際前立腺症状スコアおよび過活動膀胱スコアの記入に協力していただいたおよそ 80 名の患者様			
3. 対象となる期間	2010 年 1 月 ~ 2018 年 8 月			
4. 実施診療科等	泌尿器科学講座			
5. 研究責任者	氏名	橋本安弘	所属	泌尿器科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	岐阜大学医学部 泌尿器科 教授 古家琢也			
7. 研究の意義	膀胱全摘除術後の尿路変向術の一つとして、1980 年代後半に新膀胱造設術が開発され多くの症例で施行されてきました。しかし、その排尿機能に関しては未だ不明な点が多く、また長期間経過を見た報告はこれまでありません。今回回腸新膀胱の排尿機能の経時的経過を明らかにすることができれば今後尿路変更の選択や手術手技に非常に有用であると思われます。			
8. 研究の目的	回腸新膀胱造設術を施行された症例に対し、国際前立腺症状スコアおよび過活動膀胱スコアを用いて、術後の排尿機能の経時的経過について検討を行うことにより、排尿に関してどのような変化が生じるのか、また実際患者がどのような点で困っているのかを明らかにします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録から下記の結果情報を収集して解析いたします。 患者背景:手術時年齢・身長・体重 ・術前評価:臨床的病期分類、末梢血・生化学検査データ ・手術:手術日、術式、手術時間、出血量 ・病理結果:病理学的病期分類、組織型 ・術後経過:末梢血・生化学検査データ、再発の有無・再発日・再発までの期間、最終観察日、観察期間、転帰(生存、癌死、他因死)、国際前立腺症状スコア、過活動膀胱症状スコア			
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。			
11. 利益相反に関する状況	開示すべき利益相反はありません。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科泌尿器科学講座 橋本安弘			
	電話	0172-39-5091	FAX	0172-39-5092